

ずっときたた  
好きだった  
先輩は

彼氏

の言いきなり  
でした





おはよー



わっ  
なんだ  
かなみか

はい  
敬語です



え……っ  
ちちげえよ……!!

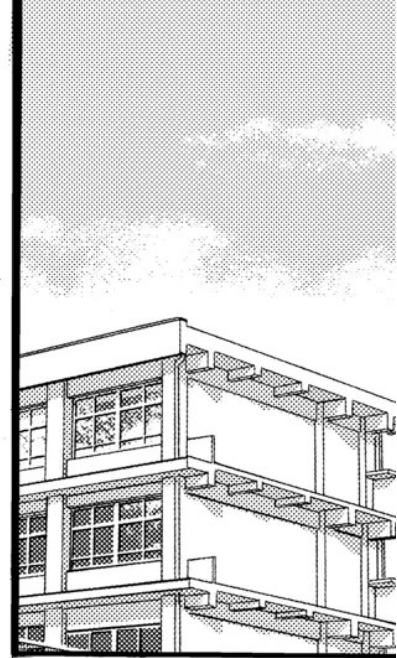


私と同じ学校  
入るために勉強  
頑張ったんでしょー



その通りだった  
かなみは2コマ上の  
先輩で幼馴染  
俺はずっとかなみを  
追いかけている

かなみは  
「放課後陸上部の  
部室前に来て」  
とだけ言って  
微笑み去っていった

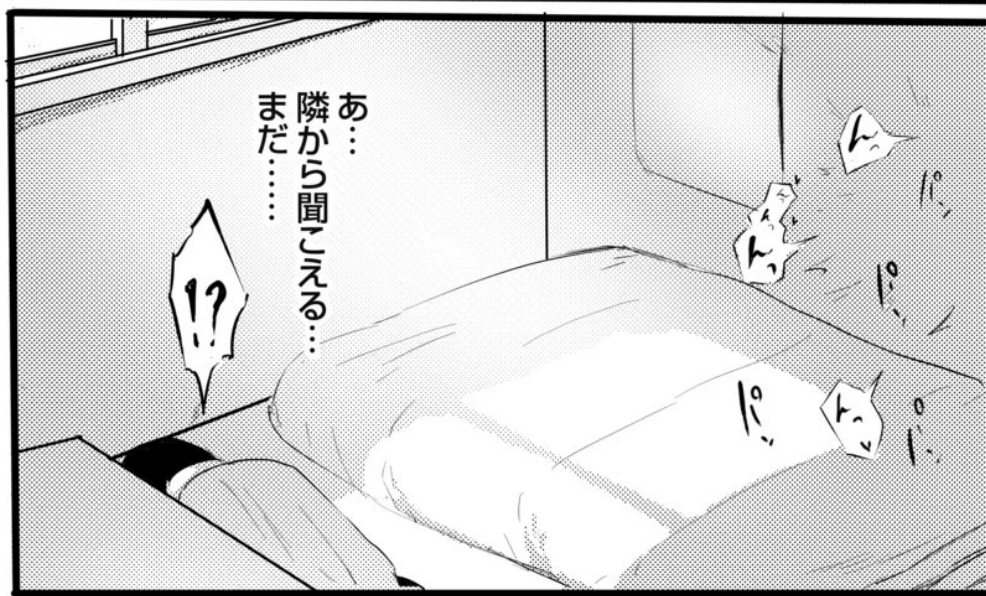
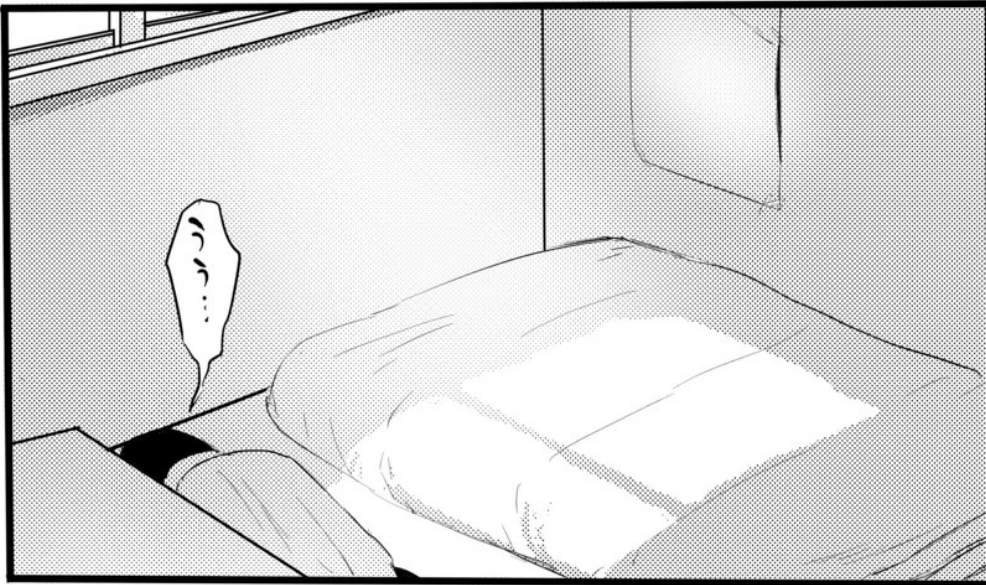


かなみ…確実に…何…何してた…!  
えと…いやでも…  
かなみはそんな女じゃない  
俺が一番わかってるだろ…



あ…つい  
隣の部屋に…

誰もいなくて  
良かった…





ち…違う  
かなみは  
こんな…

そうだ  
かなみはこんな事しない  
何か…何かワケが

ワケ？

ワケが…

訳があるんだろ!!

あのさーマサキはずっと  
記号の女みたいなの私ばかり見てる  
んだね…オナニーしてたくせに

教えてあげるよ  
…こんな私を

あのねー  
一日に何度も彼氏に  
呼び出されて

その度に  
セックスするんだ

トイレとか  
部室とか空き教室  
テニスコートの  
裏の林でもね

マサキが  
私を想って勉強  
してる間ずっと…

悔し？

私はずっと  
彼氏に好き勝手  
されてたの…

私の中  
何度も…

ズル…

毎回奥の方  
当たるように  
ぐりぐりして

激しく  
ピストンして  
くれるの

いつもダメ  
って言ってるのに  
最後は…

やめる…!!

やめる  
考えるな…!!

こうっ

して

こうっ  
してっ

中出し…

されちゃうんだ





かなみ

かなみ…

かなみ…

はむ…

やつ柔らかか…っ

かなみの…

くち…ッ!!



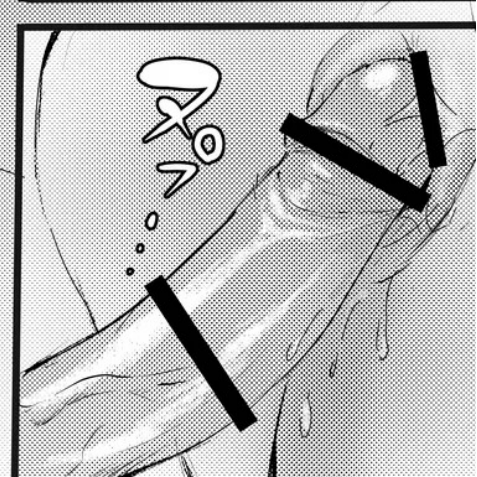


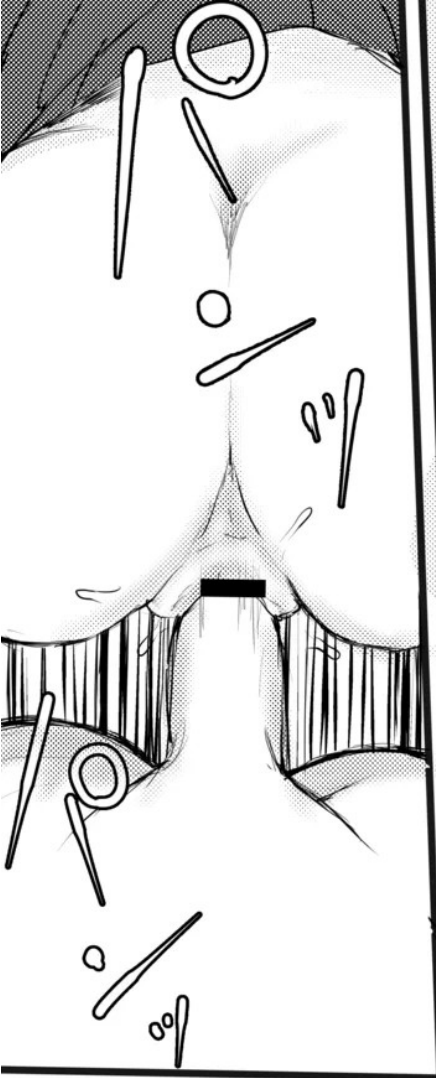
このままじゃ...  
ヤバ...  
俺...っ



あっ

あっ



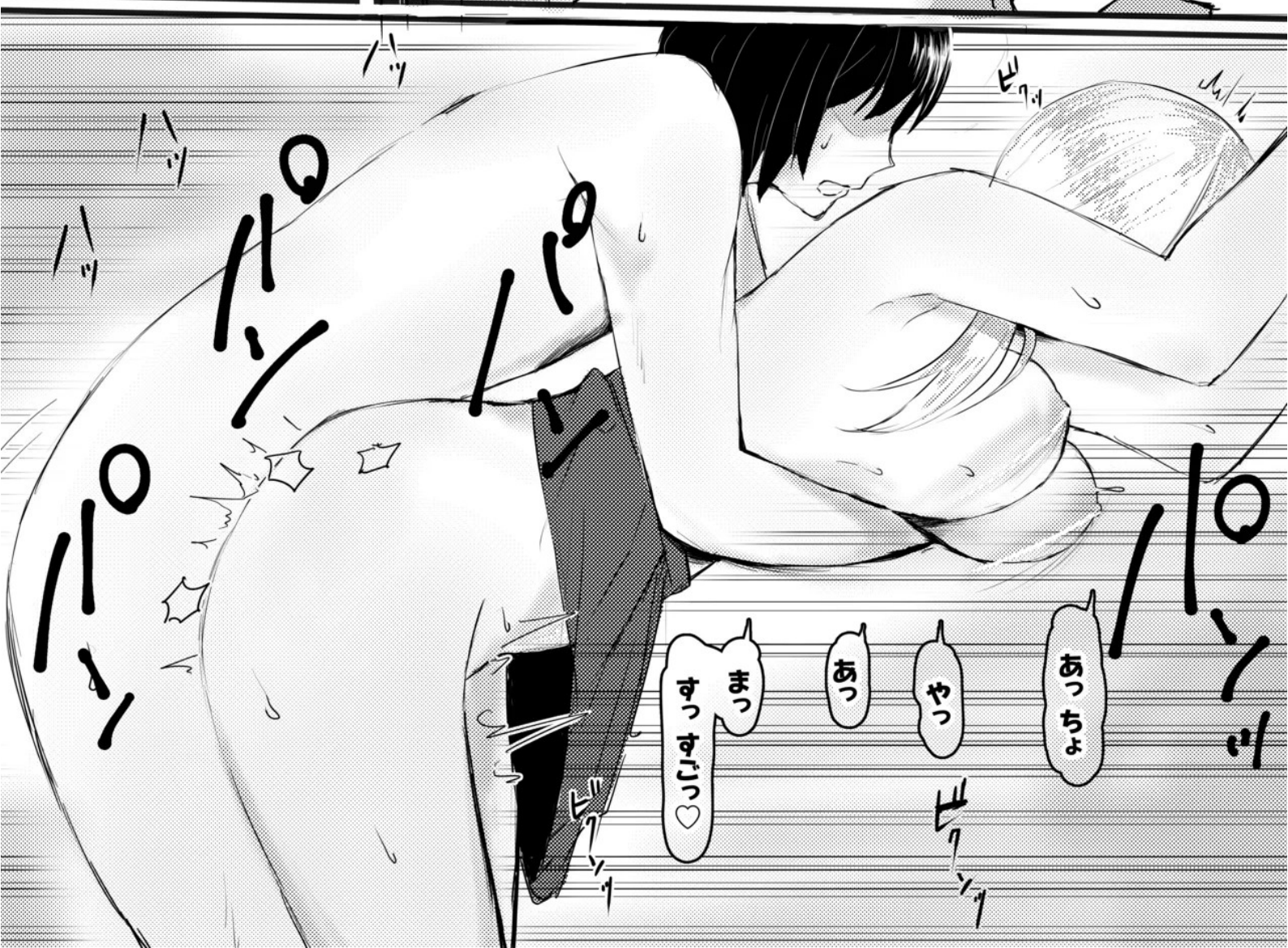


かなみ

かなみ…!!

あ、

あ、



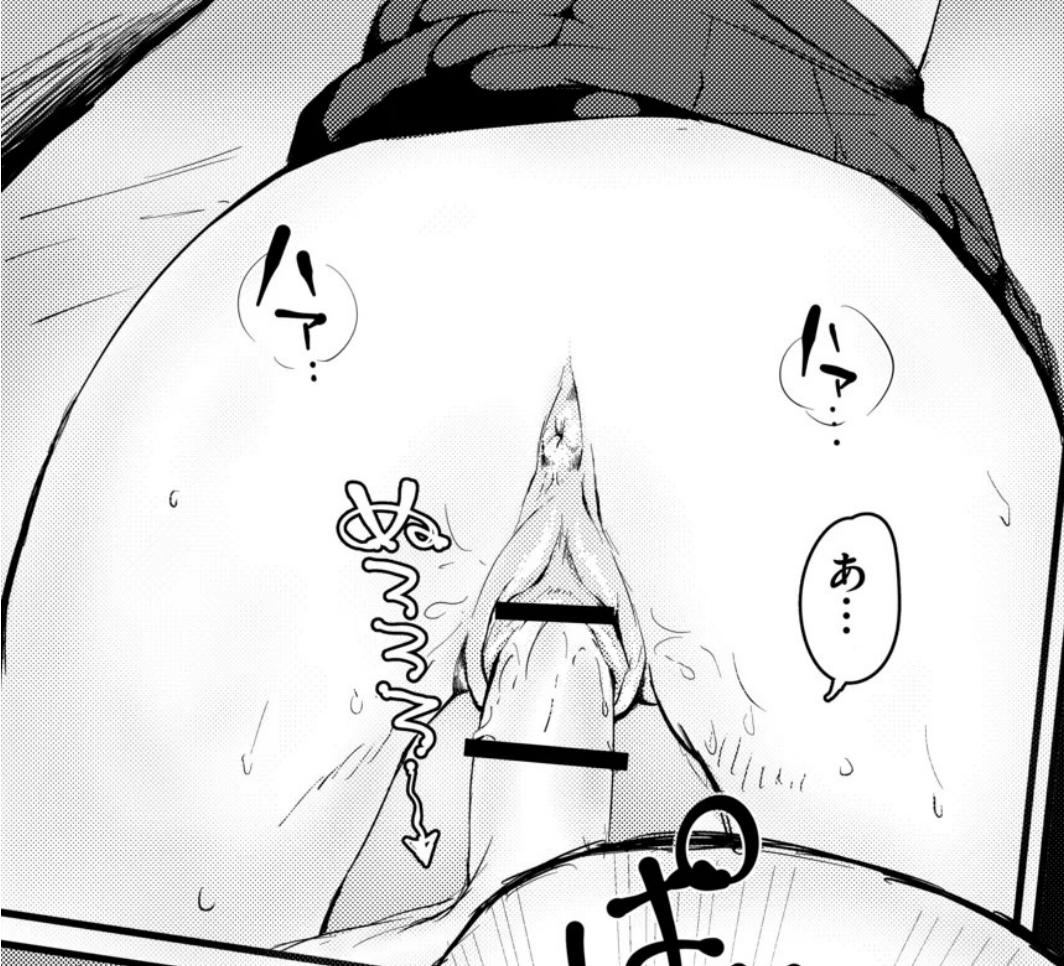
あ、あ、あ、

あ、

あ、

あ、

あ、あ、あ、♡



ハッ

ハッ

あ…

ぬんぬん



キョ

かなみ…かなみの中…



おちゅん

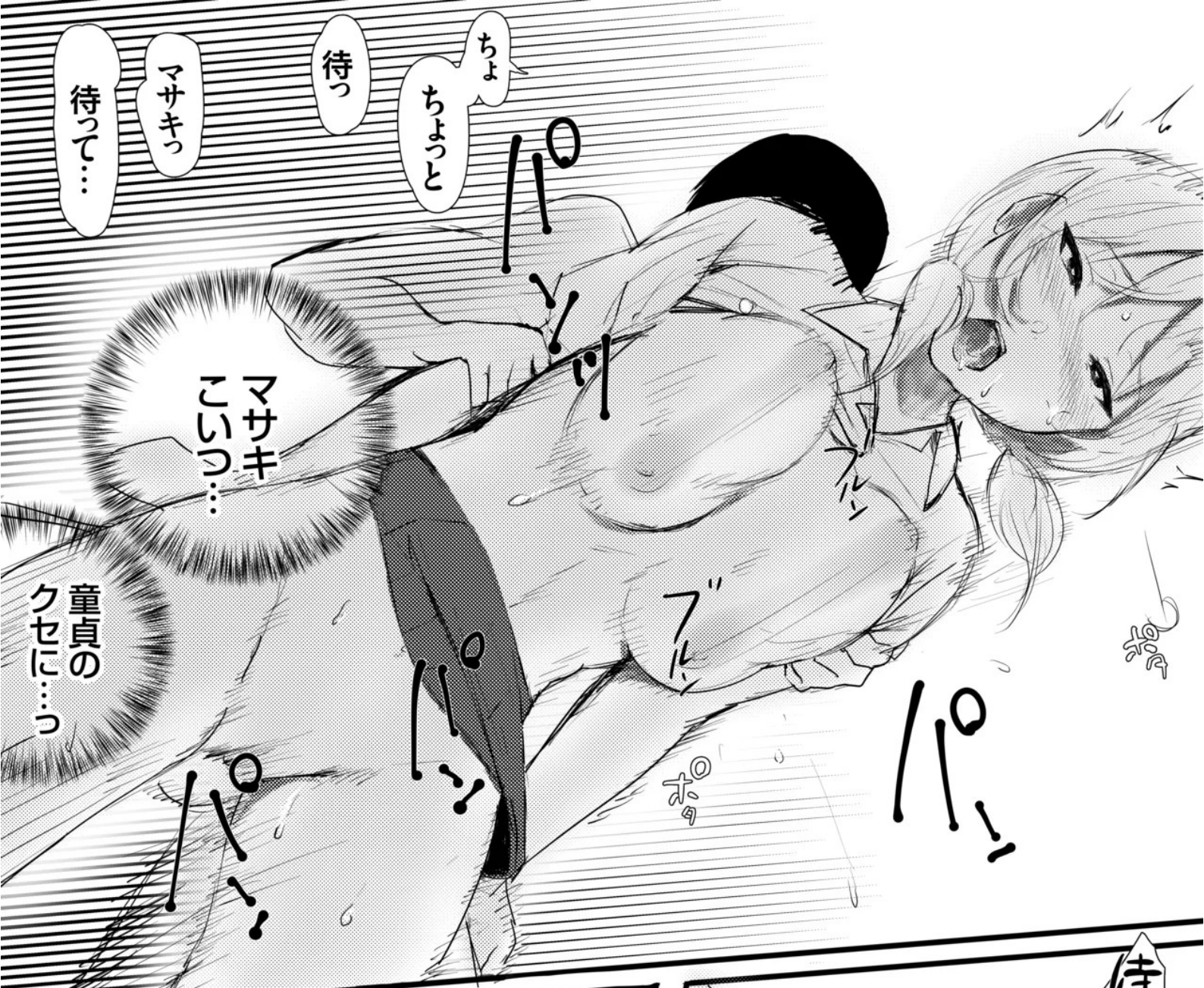
おちゅん

おちゅん

おちゅん

おちゅん

おちゅん



待って…

マサキッ

待っ

ちよ  
ちよっと

ちよ

マサキ  
ごいん…

童貞の  
クセに…っ

ズル  
オタ

パ



ん

待っ

待っ

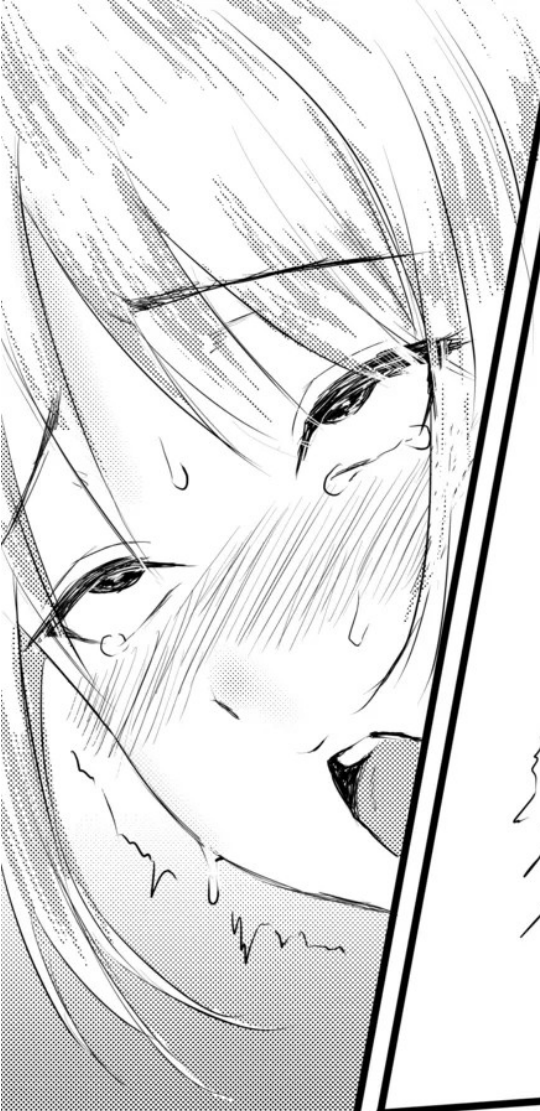
こんな  
欲望のままの  
セックス…

初めてで  
頭っ…へんに  
なる…♡♡

オタ

オタ

オタ



こんなの身が  
持たない!!!

あっあはっ…  
もう…  
満足し…



かなみ...

えっ  
何?

足

あっ?

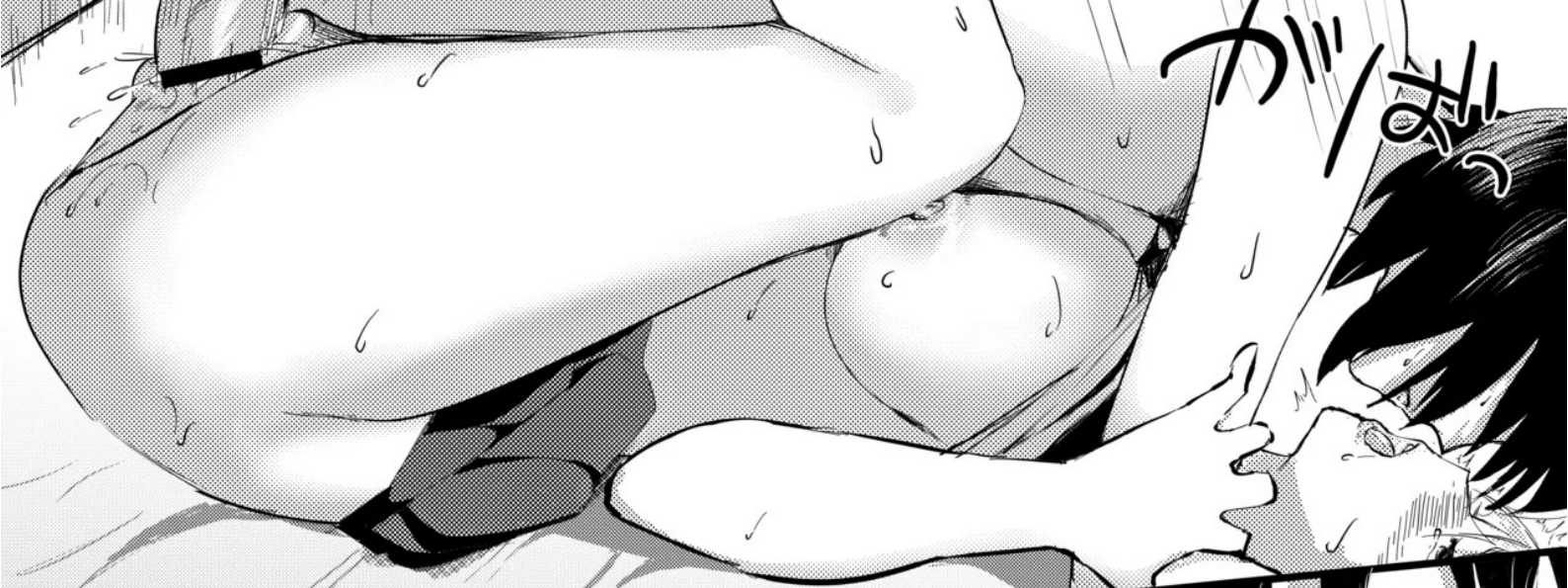
え...?

グイ...

お!

お!





ちっ近…  
このままじゃ  
キスしちゃ…

だっ…ダメ♡  
ダメ♡  
ダメ♡





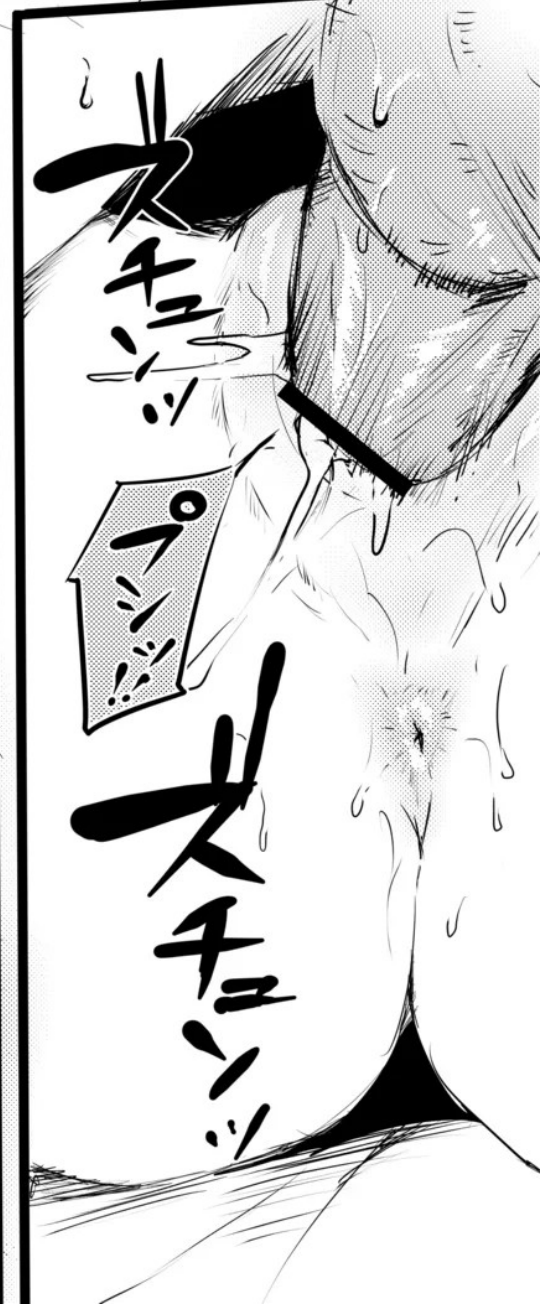


がっ♡

がっ♡

何っこれっ  
これ…

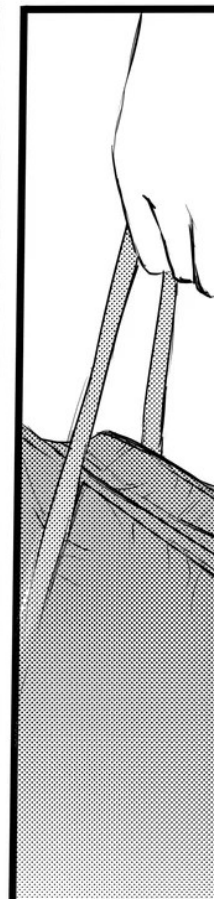
私の声!?



がっ♡







あれからというもの  
俺は日々に  
希望を失った

ら、待って



ああのさ



今日家来ない…?  
ひとり…  
なんだけど…♡

前は嬉しかった  
かなみからの誘いも…  
今は怖くてたまらない

